

地域安全学会論文奨励賞を受賞しました(2023/5/27)

テーマ：災害科学

場所：神奈川大学みなとみらいキャンパス（神奈川県横浜市）

5月27日(土)、地域安全学会の2023年度地域安全学会総会のなかで授賞式が開催され、当研究所の教員が指導する以下2名の大学院生に論文奨励賞が授与されました。論文奨励賞は、前年の秋に開催される査読論文発表会での発表論文のうち、論文筆頭著者でかつ研究発表会で発表を行なった者であり、研究実施または論文作成において指導を受ける立場にある原則として40歳未満の者を対象とし、当日の発表や質疑の内容を加味した審査によって選考されます。同年は全部で3名の受賞者の発表となりましたが、うち2名が当研究所の教員が指導する学生であり、過去最多となりました。

【受賞者】

渡邊勇（東北大学大学院工学研究科D2，指導教員：佐藤翔輔准教授，今村文彦教授）

「阪神・淡路大震災，新潟県中越地震，想定首都直下地震の先進事例と比較した東日本大震災の震災伝承施設の学習効果と有用性：利用者視点による災害伝承ミュージアムの類型化による評価の試み（地域安全学会論文集，No. 41，pp. 83-93，2022.）」

加藤春奈（東北大学大学院工学研究科D1，指導教員：村尾修教授）

「東日本大震災復興市街地における計画人口に対する居住人口の比較分析」（No. 41，pp. 187-196，2022.）」



左から1番目：村尾修教授(学会長)，左から2番目：加藤春奈さん，右から1番目：渡邊勇さん

文責：村尾修（災害人文・社会研究部門），佐藤翔輔，新家杏奈（防災実践推進部門）